

令和5年度 釜石市市勢功労者表彰



まる き ひさただ
丸木 久忠 さん

釜石市社会福祉協議会会長として、社会福祉の増進と地域福祉の推進に貢献された



きむら りんぞう
木村 琳藏 さん

釜石市議会議長として、地方自治の伸展と市勢の振興発展に貢献された



きくち つよし
菊地 次雄 さん

釜石商工会議所会頭として、地域経済の発展と東日本大震災後の復旧・復興の推進に貢献された

特別功労表彰 (50首順)

10月30日、市は市内のホテルで本年度の市勢功労者表彰式を開催しました。野田市長から、市勢の発展に大きく貢献された12人に表彰状を贈りました。



おの のら きよこ
小野寺 喜代子 さん

民生委員・児童委員として、社会福祉の増進に貢献された



うしろかわ つかさ
後川 司 さん

消防団員として、消防防災の任務に精励し民生の安定に貢献された



いわま きょういち
岩間 久一 さん

釜石虎舞保存連合会会長として、郷土芸能虎舞の発展継承に貢献された



いとう えつこ
伊藤 悦子 さん

民生委員・児童委員として、社会福祉の増進に貢献された



むらかみ てるこ
村上 輝子 さん

行政連絡員として、行政運営の進展に貢献された



まえかわ こういち
前川 耕一 さん

消防団員として、消防防災の任務に精励し民生の安定に貢献された



ぬまざわ いさお
沼澤 庸 さん

釜石市統計調査員協議会会長として、統計思想の普及発展と行政運営の進展に貢献された



かわさき きくじ
川崎 喜久治 さん

消防団員として、消防防災の任務に精励し民生の安定に貢献された

自治功労表彰 (50首順)



やはた てつお
八幡 哲夫 さん

民生委員・児童委員として、社会福祉の増進に貢献された



市長退任 あいさつ

11月17日の任期満了をもって釜石市長の職を退任する野田市長が、10月釜石市議会定例会最終日に4期16年の歩みを振り返りました。ここではそのメッセージを抜粋してお知らせします。



釜石のさらなる発展を願って

このたび、私は11月17日をもって4期16年における釜石市長の職を退任いたします。

私が市長に就任した平成19年当時、釜石市は、市民の悲願であった仙人峠道路、湾口防波堤、公共ふ頭の3大基盤が整う、まさに歴史的な転換点を迎えていました。こうした状況の中、3大基盤を生かした産業振興への戦略的な取り組みを最重要課題として位置付け、地域経済の活性化と活力ある経済基盤の確立に努めるため、トップセールスの展開や人的ネットワークの形成による産業のクラスター化に取り組みしました。

また、出生数が大幅に減少していたため、子どもを産み育てやすい環境と子どもが未来に希望を持てる環境づくりの実現に向け、保健、医療、福祉、生涯学習の連携を強化させ、市内8カ所に生活応援センターを設置し、訪問、相談活動などの個別サービスに加え、地域住民や各種団体などと連携して、子育て、高齢者などを地域で支え合う体制づくりを進めてまいりました。

さらに、各地区生活応援センターを軸に、地域の身近な課題の解決や、魅力ある地域づくりを行うための地域会議を設置し、地域が主体的に地域づくりに関わることで、地域の発展と自立に向けた取り組みができた実感しています。

東日本大震災においては、当市は甚大な被害を受け、多くの尊い命と財産を失いました。改めて犠牲になられた皆様に謹んで哀悼の意を表します。

一日も早い復旧、復興を実現できるよう、市民一丸となつてあらゆる可能性を求めて挑戦を続けた結果、大型商業施設イオンタウンの誘致、橋野鉄鉱山世界遺産登録、岩手大学釜石キャンパスの開設、ラグビーワールドカップ2019日本大会の釜石への誘致、東北横断自動車道釜石秋田線、三陸沿岸道路の全線開通と釜石港へのガントリークレーンの設置などを実現することができました。

一方で、新しい市庁舎の完成や、釜石市国際外語大学の開校などにつきましては、志半ばではございますが、一定の道筋をつけることができたと考えています。

この16年間は、当市にとって、また私にとりましてもまさに激動の16年間でありました。現在の復興の姿は、市民の皆様のお力添えを賜りながら「撓まず屈せず」を合言葉に取り組んだ結果、成し遂げられたものと考えています。

これからも多くの課題に直面することがあるかと思いますが、これまでの経験に学び、しっかりと向き合い、ひるむことなく挑戦し続けることで必ずや新しい道が拓けるものと確信しています。

釜石市長 野田 武則